

Koriyama West Weekly Report



第15回例会
No. 2788

会長/鈴木 茂幹 事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文
会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理
事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847
例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

ガバナー公式訪問 ガバナー卓話「私とロータリーとの関わり」 早川敬介ガバナー (郡山北RC)

開会点鐘

ロータリーソング

「それでこそロータリー」齊唱

四つのテスト唱和

鈴木 茂会長挨拶

皆さんこんにちは。本日もご参集頂き有難うございます。午前中のクラブ協議会で早川ガバナーからいろいろご指導頂きました。我々が当然と思っている事がちょっと違っていたり、小さなミスをご指導して頂きまして、正しい方向へ持っていくべきだと思います。本日は早川ガバナーよりたっぷりお話を頂きたいので、私の挨拶はこれまでとさせて頂きます。本日も宜しくお願ひ致します。

幹事報告

10/30(木)郡山アーバンコスモスRC ⇒ 6:30PM ~ハロウィン家族会 ビューホテル

出席報告 今泉雄二出席小委員長
会員数 39名 出席者数 23名 欠席者数 16名 出席率 58.97% 前回出席率 100.00% ビジター 早川敬介ガバナー (郡山北RC) 澤村正夫地区財務委員長(郡山北RC)

ニコニコBOX報告 阿部治江ニコニコBOX委員長

橋本忠雄会員 早川ガバナーの公式訪問を感謝します。伊東孝弥会員 早川ガバナー、澤村委員長、ようこそ郡山西RCへ! 1年間宜しくお願ひします。濱尾博文会員 早川ガバナー西クラブへようこそ! 2530地区の活性化に期待します。宮本孝会員 ガバナーご苦労様です。鈴木淳弥会員 早川ガバナー卓話宜しくお願ひします。 **ガバナーをお迎えして**

今泉信一郎会員 高橋金一会員 七海正克会員 満井紀勝会員 柳沼克彦会員 **ガバナーようこそ** 鈴木 茂会長 堀江正喜会員 森尾和衛会員 阿部治江会員 石田 弘会員 今泉雄二会員 乾 敦史会員 金田岩光会員 鈴木功一会員 滝田吉宏幹事 土井将照会員 丹生修一郎会員 緑川昭彦会員

今週のニコニコ大賞 宮本 孝会員



ガバナー卓話 「私とロータリーとの関わり」

早川敬介ガバナー

皆さんこんにちは。本日は標題についてお話しします。私がRTA連合会会长の時代です。1983~84年度ガバナー田中善六さんは、私の父と陸軍士官学校56期の同期で、私の家によく遊びに来ていました。二人とも公職追放を受けていて、毎日巡回が家に立ち寄り、今日は何をしていたかというような事を良く尋ねられていました。そんな時代に私も傍らで田中パストガバナーの話を聞いていました。田中パストガバナーは福島国体のユニフォームを作ったクラロンという会社の社長でした。クラロンでは障がい者を従業員として雇用しており、それも35%という全国一の比率だったという事で、戦中の反省を含めての取り組みといった話を聞きました。私はこの話に感動し、秋のPTA研究大会に講演をして頂きました。



何故障がい者雇用の話かというと、PTA連合会は幼・小・中・高・養護・聾があり、私は郡山養護学校と県立聾学校の顧問をしていました。今は支援学校となった養護学校高等部の就職の内定した子供達のために、卒業まではとんど寮生活の彼らを早めに寮を出し、生活する事と、通学する事を学校で教えて頂きたいという提案をしました。県教育委員会とPTA連合会から賛成の決議を受け、県での取り組みを行っています。

こんなふうに私は、PTAの中で子供達と保護者のために社会貢献活動をしてきましたが、それにはきっかけがありました。私が36歳の時、子供達に飛行機に乗りたいと頼まれ、お盆の前に羽田から大阪までのフライトを旅行会社に予約を入れていましたが、希望の席数が取れずにキャンセルしました。その日は1985年8月12日、予約を入れていたのはJAL123便あの御巣鷹山に墜落した便でした。「我々は行き残されたんだ。社会のために役立てという事だろう。なのでお父さんは社会貢献して行きたい。あなた方も自分の命を大切に少しでも社会貢献できるように生きて行ってくれ。」と小さい子供達に言いました。それからそんな取り組みをしてきました。

また、福島県のPTA連合会長になって日本PTAの常務理事の平成10年に愛媛県で全国研究会があり、隣席の文部省審議官に「義務教育を育つ子供達は、高校も中学も受験受験で点数を上げるための勉強をしていて、その後40年も関わる職業についての人生設計できる事を教えていない、これは義務教育としておかしいのでは、何とかしてほしい」と言ったところ、その2週間後にPTAで平



成10年度内に取り組んで下さるのなら、3千万円の予算を付けますと電話がありました。日本PTAで緊急役員会を開き、中学生インターンシップとして取り組む事になりました。全国47都道府県並びに政令指定都市で40か所が取り組みました。福島県では最初に私の母校行健中学校で取り組む事になりました。この当時の平成10年に、1学年400人、3学年で1200人を超える県下一のマンモス校だったので、ここでできるのならどこでもできるという事でした。その時の報告書の中に、担当になった会社の方の報告もあり、「これまで私は命令された事だけをやってきたのですが、中学生のインターンシップの担当になって自分のやっている仕事をもう一度振り返ったら、私は仕事を通して社会に貢献できていたんだという実感が持てました。」と書いてありました。これを文部省課長が読み、この取り組みは相乗効果をもたらすもので無くしたくないと言ってくれました。普通官庁の取り組みは3年で終わるのですが、このインターンシップに対する取り組みはずうと続いています。

その頃私は郡山北RCから入会の誘いを受けていたのですが、日本PTAの常務のあと専務も受けていて、全国PTA創立50周年で全国を飛び回っていたので入会をお断りしていたのですが、会員の皆さんの事業所が中学生のインターンシップ職業体験の受け皿になって下さるのなら入会させて頂きますという条件付きで入会させて頂きました。このプロジェクトが軌道に乗るまで新世代委員長を6年間務めました。そして郡山北部の5つの中学校を中心に、

中学2年生の発表会を毎月2月、公民館・地域交流センター・視聴覚ホールをお借りして発表してきました。その中で5校の中学校の校長も担当の先生も、そしてロータリアンも、特に我々ロータリアンは、代表して子供達の前で自分の事業に取り組んできた経緯等を話して頂きました。その後、各中学校でインターンシップに対する取り組みの視点が違っているという事が分かりました。ある中学校では何年後かに修学旅行と抱き合わせてインターンシップを行っていました。例えば東京への修学旅行ではNHKと警視庁、仙台への修学旅行では仙台空港と市場で職場体験をしていました。当然地元でもしていたのですが、そういう取り組みにまで発展していた学校もありました。

そして10年程経った時に、市の教育委員会に移動になった先生からキャリア教育の文部科学大臣賞があるのですが、ノミネートしていいでしょうかという連絡があり、是非お願いしますと答えました。平成23年度キャリア教育優良団体という事で、ロータリークラブとしては全国で唯一文部科学大臣賞を頂く事ができました。

この後、2011～2012年度地区青少年奉仕委員会RYLA委員長となりましたが、RYLAという言葉を認知して頂くために、先ずライラというカタカナ表記をやめてRotary Youth Leadership Awards（ロータリー青少年指導者養成プログラム）のRYLAと表記させて頂く事になりました。その後、地区ロータリー財団委員長、地区社会・国際委員長になった経緯は、年度初めのガバナー挨拶にてお分かりの通りです。



(株)エスビー商会

代表取締役 佐藤克敏

〒963-0107 郡山市安積1-138
TEL 945-5585 FAX 945-6696

光栄電気通信工業(株)

代表取締役 鳴原健太郎

〒963-0215 郡山市待池台1-55-33
TEL 963-1028 FAX 963-1775